

株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数 250,000,000株
 発行済株式の総数 106,576,837株
 株主数 10,782名

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	14,969	14.80
かみぐみ共栄会	7,371	7.28
(株)日本カストディ銀行(信託口)	5,395	5.33
上組社員持株会	3,579	3.53
(一財)村尾育英会	2,456	2.42
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2,400	2.37
日本生命保険(相)	2,271	2.24
住友生命保険(相)	2,250	2.22
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	2,025	2.00
JPモルガン証券(株)	1,859	1.83

※1 自己株式5,432千株は、上記大株主から除いています。
 ※2 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 ※3 持株比率は自己株式を控除して算出しています。

会社の概況 (2025年9月30日現在)

商号	株式会社 上組(Kamigumi Co.,Ltd.)
創業	1867(慶応3)年(設立：1947年2月28日)
資本金	31,642,266,011円
従業員	3,628名(連結：4,126名)
本店	神戸市中央区浜辺通四丁目1番11号
主要な事業内容	物流事業 港湾運送、倉庫、国内運送、工場荷役請負、国際運送、物流その他 その他事業 重量・建設、その他

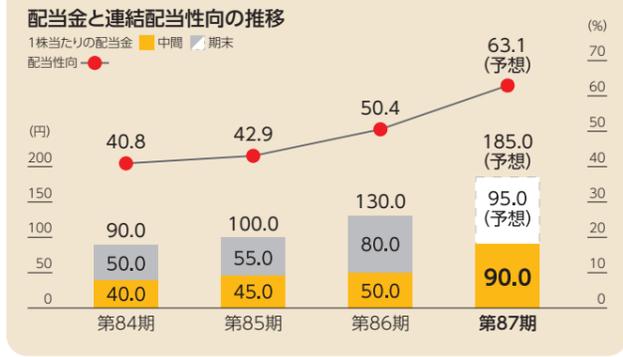
役員 (2025年9月30日現在)

取締役	監査役
代表取締役社長 深井 義博	常任監査役(常勤) 堀内 敏弘
代表取締役副社長 田原 典人	監査役(社外) 黒田 愛
取締役 平松 宏一	監査役(社外) 秀島 友和
取締役 長田 行弘	監査役(社外) 佐々木 聖子
取締役 椎野 和久	
取締役(社外) 保坂 収	
取締役(社外) 松村 はるみ	
取締役(社外) 柚木 和代	

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 中間 9月30日 期末 3月31日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公告方法	電子公告 当社ホームページ(https://www.kamigumi.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
(ご注意)	1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主様への還元方針

当社は、最適な資本構成を勘案しつつ、持続的な企業価値の向上を目指し、収益拡大に向けた成長投資や企業基盤の強化に要する自己資本の水準に配慮したうえで、安定的な利益還元を継続することを基本方針としております。利益還元については連結配当性向を基準とした配当を基礎とし、キャッシュ・フローの状況や資本効率などを勘案しつつ、自己株式の取得についても適宜、実施してまいります。なお、「中期経営計画2030」(最終年度：2030年3月期)においては、利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的かつ持続的な増額を追求しつつ、連結配当性向70%を目安とした株式配当を実施するとともに、資本収益性向上の観点から総額650億円規模の自己株式取得を実施することといたします。



<https://koekiku.jp>

アクセスキー

株主アンケートにご協力ください

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp



第87期
 中間報告書

2025年4月1日 ▶
 2025年9月30日

中期経営計画の達成に向け、国内外で積極投資を実行します。

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。さて、当社第87期中間連結会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の事業の状況をご報告申し上げます。物流業界は、輸入貨物の取扱いに持直しの動きがみられるものの、燃料価格の高止まりに加え、人件費の上昇など厳しい経営環境が継続しました。このような状況下で当社グループは、国内では苫小牧港に物流センターを竣工し、国外では米国現地法人が自社運営倉庫を稼働させるなど、今期から開始した中期経営計画2030の基本方針に沿った施策を推進してまいりました。当中間連結会計期間の経営成績は、港湾運送や倉庫、国内運送の取扱量増加に伴い、営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益のいずれも前年同期を上回り、増収増益となりました。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 深井 義博



連結財務ハイライト

詳細は当社ホームページに掲載されているIR情報をご覧ください。
<https://www.kamigumi.co.jp/ir/>



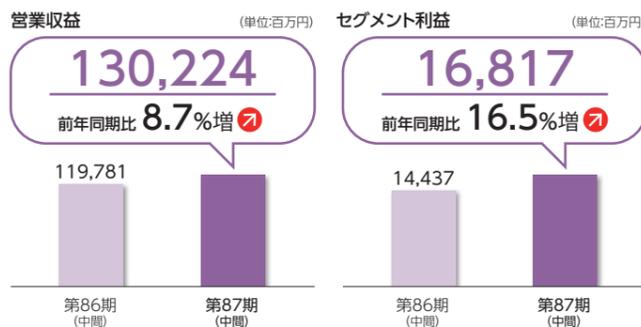
※第87期の通期連結業績予想については、当中間連結会計期間の結果を受け、上方修正いたしました。

株式会社上組

物流事業

- 穀物、青果物の取扱量が堅調に推移
- コンテナ取扱いの増加
- スポット輸送案件の受注が寄与

構成比 **87.8%**

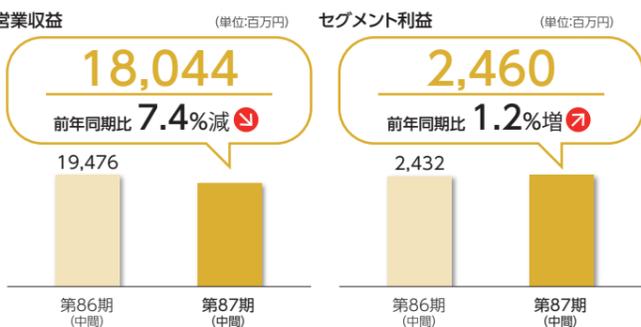


※上記の営業収益およびセグメント利益の数値は、セグメント間の取引消去前の数値を記載しています。

その他事業

- 発電所機器の運搬・据付案件の反動減
- 新車整備の取扱いおよび燃料販売が減少

構成比 **12.2%**



トピックス

1 米国現地法人がロサンゼルスで自社運営倉庫の稼働開始

2025年8月、米国の現地法人「Kamigumi USA Inc.」がカリフォルニア州ロサンゼルスおよびロングビーチ両港近郊で、自社運営倉庫の稼働を開始しました。近年、両港を経由する輸出入コンテナ取扱量と倉庫需要が高まりをみせるなか、両港から至近距離に位置し、主要幹線道路へのアクセスにも優れる当倉庫は、積替え貨物の配送拠点としての役割が期待されます。

同社はロサンゼルスに拠点を構え、フォーディングや大型機器輸送・据付、米国とメキシコ間のクロスボーダー輸送などの実績を積み重ねてまいりましたが、さらなる収益基盤としての倉庫事業を確立することで、日本国内のノウハウを駆使した高付加価値のサービスを提供することが可能になります。

当社はこれからも海外事業への積極投資を行い、中期経営計画のひとつである「収益基盤としてのグローバル事業の確立」に取り組んでまいります。

名称	Kamigumi USA LA Logistics Center
所在地	21906 Arnold Center Road, Carson, CA 90810, USA
延床面積	10,424㎡
敷地面積	23,233㎡
稼働開始日	2025年8月1日



2 北海道苫小牧港に「晴海物流センター」竣工

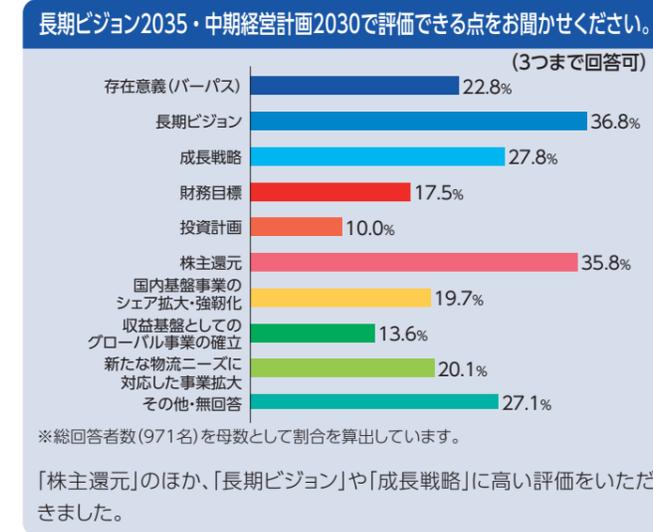
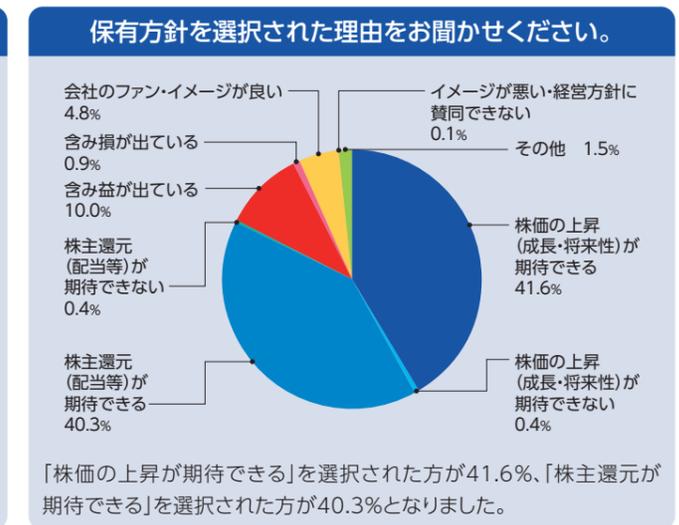
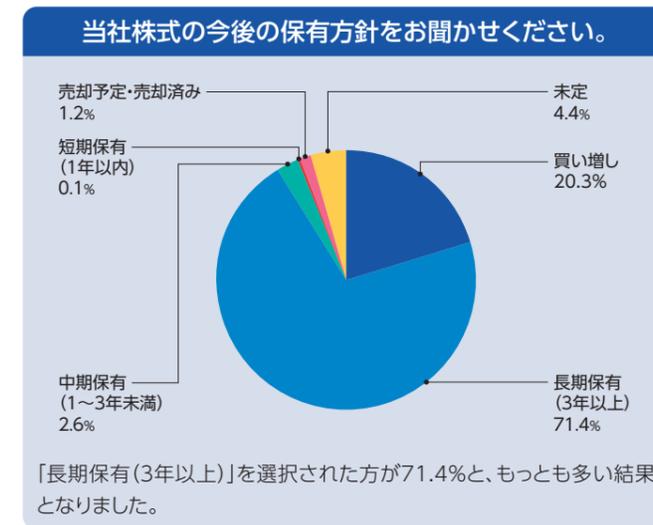
2025年9月、苫小牧港（北海道）に「晴海物流センター」を竣工しました。同センターは、定温庫をメインに冷蔵・燻蒸機能も備え、多様な保管貨物に対応します。港に近く、輸送時間の短縮など、付加価値の高いサービスを提供できます。

同センターは、同港における近年の政府米・国産飼料米の保管需要拡大に対応するものであり、中期経営計画2030の基本

名称	晴海物流センター
所在地	北海道苫小牧市晴海町42番1
竣工日	2025年9月1日
延床面積	15,317㎡
敷地面積	26,082㎡
構造	鉄骨造2階建
主要設備	全灯 LED照明、垂直搬送機2基、バルク車積込ホッパー160t (20t×8本)



第86期報告書のご送付とあわせて実施いたしました株主の皆様へのアンケートでは、971名の株主様よりご回答をいただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。紙面の都合上、一部ではございますが、アンケート結果をご報告いたします。掲載した株主様の貴重なご意見は、今後の経営やIR・SR活動の参考にさせていただきます。



株主様からの声

- 中期経営計画の達成を期待します。
- 物流企業として、収益拡大の成長投資や自己株式の取得向上に合わせて、新エネルギー関連物流の新規事業に期待をしています。
- 地味な会社というイメージがあるのもっと媒体等を通じてアピールしてほしい。
- 人口減少へ向かう日本国内の事業だけでなく、よりグローバルな視点から、さらなる海外進出を期待しています。
- 長期で応援しています！
- 事業内容がわかりにくい。専門用語も含め、わかりやすく説明してほしい。

上組のサステナビリティ

神戸ストークスとダイヤモンドパートナー契約を締結

当社は、B.LEAGUE所属のプロバスケットボールチーム「神戸ストークス」と2025~2026シーズンのダイヤモンドパートナー契約を締結しました。神戸ストークスは、2011年に創設されたプロバスケットボールチームで、現在は神戸市を本拠地として活動しており、2026年に新設される「B.LEAGUE PREMIER」への参入を果たすなど、さらなる飛躍が期待されています。

神戸港開港とともに創業した当社は、神戸ストークスの掲げるミッションおよびビジョンに賛同し、パートナー契約を締結したものです。これからも神戸ストークスとともに、神戸を中心とした地域の活性化や社会貢献に取り組んでまいります。

